

# 歩いて見つけた 沖縄の石獅子



現在、沖縄県には南部を中心に集落を見守る村落シーサー(石獅子)が130体ほど残っています。若山恵里氏は、今主流になっている陶製のシーサーの元祖とされている石獅子を、約10年間かけて探し歩き、お年寄りや詳しい方にお話を聞いています。沖縄の歴史、石獅子の発祥、石獅子の役目、それから分かる庶民の暮らしや思いなどを写真と共にご発表いただきます。



講師：若山 恵里氏

E r i W a k a y a m a

略歴 1979 滋賀県生まれ  
2002 沖縄県立芸術大学彫刻専攻卒業  
2011 石獅子探し回る、調べる、ファイルする  
2016 琉球新報副読誌かふうにて「石獅子探訪記」連載開始  
2019 まだまだ調べる 10月時点 石獅子探訪記45回

日時：2019年12月14日(土) 15時～17時

場所：明治大学和泉キャンパス メディア棟3階M305教室

(明大前駅より甲州街道を歩道橋で越えて校門に入って左手の建物がメディア棟です)

コーディネーター：川野明正 法学部教授

予約不要：学部生の受講可

※学外の方も受講可能です。事前にお電話ください。

【教養デザイン研究科TEL03-5300-1529】